



CHAPTER 28

SCSI ターゲットの検出

この章では、Cisco MDS 9000 ファミリのスイッチが提供する SCSI LUN 検出機能について説明します。内容は次のとおりです。

- 「SCSI LUN 検出の概要」(P.28-1)
- 「SCSI LUN 情報の表示」(P.28-2)

SCSI LUN 検出の概要

SCSI ターゲットにはディスク、テープ、およびその他のストレージデバイスが含まれます。これらのターゲットの Logical Unit Number (LUN) は、ネーム サーバに登録されません。

ネーム サーバに LUN 情報が必要な理由は、次のとおりです。

- LUN ストレージ デバイス情報を表示して NMS がこの情報にアクセスできるようにするため
- デバイスのキャパシティ、シリアル番号、およびデバイス ID 情報を表示するため。
- ネーム サーバにイニシエータおよびターゲット機能を登録するため。

SCSI LUN 検出機能には、ローカル ドメイン コントローラ ファイバ チャネル アドレスが使用されません。この機能はローカル ドメイン コントローラをソース FC ID として使用し、SCSI デバイス上で SCSI INQUIRY、REPORT LUNS、および READ CAPACITY コマンドを実行します。

SCSI LUN 検出機能は、CLI (コマンドライン インターフェイス) または SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) を通して、オンデマンドで開始されます。隣接スイッチが Cisco MDS 9000 ファミリーに含まれる場合、この情報は隣接スイッチとも同期されます。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- 「SCSI LUN 検出の開始について」(P.28-1)
- 「SCSI LUN 検出の開始」(P.28-2)
- 「カスタマイズ検出開始の概要」(P.28-2)
- 「カスタマイズ検出の開始」(P.28-2)

SCSI LUN 検出の開始について

SCSI LUN 検出はオンデマンドで実行されます。

ネーム サーバ データベース内の Nx ポートのうち、FC4 Type = SCSI_FCP として登録されたものだけが検出されます。

SCSI LUN 検出の開始

SCSI LUN 検出を開始するには、次の手順を実行します。

	コマンド	目的
ステップ1	switch# discover scsi-target local os all discovery started	すべてのオペレーティング システム (OS) のローカル SCSI ターゲットを検出します。オペレーティング システムのオプションは、 aix 、 all 、 hpux 、 linux 、 solaris 、または windows です
	switch# discover scsi-target remote os aix discovery started	AIX OS に割り当てられたリモート SCSI ターゲットを検出します。
	switch# discover scsi-target vsan 1 fcid 0x9c03d6 discover scsi-target vsan 1 fcid 0x9c03d6 VSAN: 1 FCID: 0x9c03d6 PWWN: 00:00:00:00:00:00:00:00 PRLI RSP: 0x01 SPARM: 0x0012 SCSI TYPE: 0 NLUNS: 1 Vendor: Company 4 Model: ST318203FC Rev: 0004 Other: 00:00:02:32:8b:00:50:0a	指定された VSAN (1) および FC ID (0x9c03d6) の SCSI ターゲットを検出します。
	switch# discover scsi-target custom-list os linux discovery started	Linux OS に割り当てられたカスタマイズリストから SCSI ターゲットを検出します。

カスタマイズ検出開始の概要

カスタマイズ検出は、検出を開始するように選択的に設定された VSAN とドメインのペア リストによって行われます。この検出を開始するには、**custom-list** オプションを使用します。ドメイン ID は 0 ~ 255 の数値 (10 進数)、または 0x0 ~ 0xFF の数値 (16 進数) です。

カスタマイズ検出の開始

カスタマイズ検出を開始するには、次の手順を実行します。

	コマンド	目的
ステップ1	switch# discover custom-list add vsan 1 domain 0X123456	指定されたエントリをカスタムリストに追加します。
	switch# discover custom-list delete vsan 1 domain 0X123456	指定されたドメイン ID をカスタムリストから削除します。

SCSI LUN 情報の表示

検出結果を表示するには、**show scsi-target** および **show fcns database** コマンドを使用します。例 28-1 ~ 28-8 を参照してください。

例 28-1 検出されたターゲットの表示

```
switch# show scsi-target status
discovery completed
```



(注) このコマンドを完了するには、数分間かかることがあります（特に、ファブリックが大規模である場合や、複数のデバイスの応答速度が遅い場合）。

例 28-2 FCNS データベースの表示

```
switch# show fcns database

VSAN 1:
-----
FCID          TYPE  PWWN                               (VENDOR)          FC4-TYPE:FEATURE
-----
0xeb0000      N     21:01:00:e0:8b:2a:f6:54 (Qlogic)          scsi-fcp:init
0xeb0201      NL    10:00:00:00:c9:32:8d:76 (Emulex)          scsi-fcp:init

Total number of entries = 2

VSAN 7:
-----
FCID          TYPE  PWWN                               (VENDOR)          FC4-TYPE:FEATURE
-----
0xed0001      NL    21:00:00:04:cf:fb:42:f8 (Seagate)         scsi-fcp:target

Total number of entries = 1

VSAN 2002:
-----
FCID          TYPE  PWWN                               (VENDOR)          FC4-TYPE:FEATURE
-----
0xcafe00      N     20:03:00:05:30:00:2a:20 (Cisco)           FICON:CUP

Total number of entries = 1
```

例 28-3 検出されたターゲット ディスクの表示

```
switch# show scsi-target disk
-----
VSAN  FCID          PWWN                               VENDOR  MODEL  REV
-----
1      0x9c03d6      21:00:00:20:37:46:78:97  Company 4  ST318203FC  0004
1      0x9c03d9      21:00:00:20:37:5b:cf:b9  Company 4  ST318203FC  0004
1      0x9c03da      21:00:00:20:37:18:6f:90  Company 4  ST318203FC  0004
1      0x9c03dc      21:00:00:20:37:5a:5b:27  Company 4  ST318203FC  0004
1      0x9c03e0      21:00:00:20:37:36:0b:4d  Company 4  ST318203FC  0004
1      0x9c03e1      21:00:00:20:37:39:90:6a  Company 4  ST318203 CLAR18  3844
1      0x9c03e2      21:00:00:20:37:18:d2:45  Company 4  ST318203 CLAR18  3844
1      0x9c03e4      21:00:00:20:37:6b:d7:18  Company 4  ST318203 CLAR18  3844
1      0x9c03e8      21:00:00:20:37:38:a7:c1  Company 4  ST318203FC  0004
1      0x9c03ef      21:00:00:20:37:18:17:d2  Company 4  ST318203FC  0004
```

例 28-4 すべてのオペレーティング システムで検出された LUN の表示

```
switch# show scsi-target lun os all
ST336607FC from SEAGATE (Rev 0006)
FCID is 0xed0001 in VSAN 7, PWWN is 21:00:00:04:cf:fb:42:f8
-----
OS  LUN  Capacity Status  Serial Number  Device-Id
(MB)
```

```

-----
WIN 0x0    36704    Online  3JA1B9QA00007338 C:1 A:0 T:3 20:00:00:04:cf:fb:42:f8
AIX 0x0    36704    Online  3JA1B9QA00007338 C:1 A:0 T:3 20:00:00:04:cf:fb:42:f8
SOL 0x0    36704    Online  3JA1B9QA00007338 C:1 A:0 T:3 20:00:00:04:cf:fb:42:f8
LIN 0x0    36704    Online  3JA1B9QA00007338 C:1 A:0 T:3 20:00:00:04:cf:fb:42:f8
HP  0x0    36704    Online  3JA1B9QA00007338 C:1 A:0 T:3 20:00:00:04:cf:fb:42:f8

```

例 28-5 Solaris OS で検出された LUN の表示

```

switch# show scsi-target lun os solaris
ST336607FC from SEAGATE (Rev 0006)
FCID is 0xed0001 in VSAN 7, PWWN is 21:00:00:04:cf:fb:42:f8
-----
OS  LUN      Capacity Status  Serial Number  Device-Id
      (MB)
-----
SOL 0x0    36704    Online  3JA1B9QA00007338 C:1 A:0 T:3 20:00:00:04:cf:fb:42:f8

```

次のコマンドを実行すると、各 OS（Windows、AIX、Solaris、Linux、または HP-UX）に割り当てられたポート WWN が表示されます。

例 28-6 各 OS の pWWN の表示

```

switch# show scsi-target pwn
-----
OS      PWWN
-----
WIN     24:91:00:05:30:00:2a:1e
AIX     24:92:00:05:30:00:2a:1e
SOL     24:93:00:05:30:00:2a:1e
LIN     24:94:00:05:30:00:2a:1e
HP      24:95:00:05:30:00:2a:1e

```

例 28-7 カスタマイズ検出されたターゲットの表示

```

switch# show scsi-target custom-list
-----
VSAN    DOMAIN
-----
1       56

```

オンラインになった SCSI ターゲットの自動検出を確認するには、**show scsi-target auto-poll** コマンドを使用します。内部 uuid 番号は CSM または IPS モジュールがシャーシ内であることを示します。

例 28-8 自動検出されたターゲットの表示

```

switch# show scsi-target auto-poll
auto-polling is enabled, poll_start:0 poll_count:1 poll_type:0
USERS OF AUTO POLLING
-----
uuid:54

```